

ある人生の記録

経済学者の夫、森嶋通夫を語る

第5回 「なぜ日本は没落するか」



森嶋瑤子略歴

もりしま ようこ：1930年神戸生まれ。東京女子大学数学科（旧制）卒業後、日立製作所中央研究所助手、大阪大学経済学部助手などを務める。1968年に家族とともに来英し、以後、英国在住。1984年、国際児童文庫協会（ICBA）を東京で創設したオーバル・ダン氏とロンドンで出会い、日本語の文庫活動を始め、ICBA UK支部を創設。以後、支部長を務める。

20世紀後半、世界的な経済学者として英国の名門大学で教授職を務められた森嶋通夫氏。私が森嶋さんを知ったのは学生時代、同氏の著書を読んだのがきっかけだった。毎日の忙しさに森嶋さんのことは記憶の彼方にあったが、約2年前にあるレセプションで森嶋さんの奥様、瑤子さんと出会ったことから再び同氏の在りし日の活躍に思いを馳せるようになった。森嶋氏の人生の三角波を瑤子さんからお聞きする、全6回シリーズ。

（センターピープル代表取締役 飯塚忠治）

※三角波：時化した海で方向の違う二つ以上の波が重なってできる三角形の波で、船の舵が取れなくなる危険な状態を言う。

森嶋通夫略歴

もりしま みちお：1923年～2004年。大阪府生まれ。京都帝国大学経済学部経済学科在学中に徴兵。軍では暗号解読を担当した。戦後、京都大学助教授、大阪大学教授を経て1968年来英し、エセックス大学、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）の教授を歴任。ノーベル経済学賞の候補者とも目された世界的な数理経済学者。



日本は今、危険な状態にある。次の世紀で日本はどうなるかと誰もがいぶかっているのではないだろうか。私も本書で、**照準を次の世紀の中央時点——2050年に合わせて、その時点で没落しているかどうかを考えることにした（中略）没落は政治から起こることもあるし、経済から起こることもある。日本はかつて政治は三流、経済は一流といわれたが（中略）没落した国民は、発言力が弱くなり世界史はその国民を無視ないし置き去りにして前進していく。**

森嶋通夫著「なぜ日本は没落するか」（岩波現代文庫）はしがきからの抜粋

飯塚 衝撃的なタイトルですね。1999年に出版されていますが、経済学者としてどのようなアプローチから構成されているのでしょうか。

瑤子さん 1997年春、森嶋はシドニーのマッコリー大学のC・フリードマン教授から翌年8月に開催される日本の将来についての学会の招待状を受け取りました。その手紙は「自分が日本研究家になったのはあなたの『なぜ日本は「成功」したか』で日本に興味を持ったからだ、日本はだめになっているじゃないか」という糾弾状とも受け取れるものだったようで、森嶋は即座に招待を受ける返事をし、同時にこの課題に取り組んだのです。そして学会の後で日本の大学に滞在しているとき、岩波書店から「日本経済への緊急提言：この泥沼から脱出する方策はあるのか」というテーマで、4人の経済学者に執筆依頼があったのです。ちょうどシドニーの学会のために考えていたテーマでしたから、題名もそのものズバリということになりました。

飯塚 その時点で2050年を予測するというのは非常に大胆ですね。

瑤子さん そうですね。森嶋は『なぜ日本は「成功」したか』で「成功」と記しましたが、単純に成功したというようには認めていなかったのです。森嶋は「なぜ日本は没落するか」を執筆するに当たり、自身の方法論と言いますが、今ある現象はなぜ起きるのかを見る哲学的な視点を大事にしています。

飯塚 と言いますと？

瑤子さん 森嶋が社会をどう捉えていたかと言いますと、社会は一つの構造物であり、それには土台と、土台に立てられた上部構造がある。この社会観は恐らくマルクスのものであったのですが、森嶋はそこから一歩進めて、社会の土台は人間であると考えたのです。経済は人間という土台の上に立てられた上部構造に過ぎない。それゆえ将来の社会を予測する場合は、まず土台の人間が予想時点までの間にどのように量的、質的な変化をするかを考え、その上でどのような上部構造が構築できるかを考えるべきだと。

飯塚 下部構造や上部構造といった、なかなか耳にしない言葉なので分かりにくい部分もあるかもしれませんが、社会構造をまるで建物のように、すなわち土台があって家が建つと見る考え方が面白いですね。

瑤子さん この考え方で人に焦点を当てて、2050年の社会の土台がどのように構成され、その上でどのような上部構造が築かれるかという間接的な推定方法を取るならば、この予測の見通しは、はるかに開けてくると言っています。

飯塚 なんだか分かりかけてきました。森嶋さんの将来予測の方法論は、具体的に言うと、どのような質、量の人間が今の社会の中心的構成員なのかという視点に立っていて、50年後の日本社会の予測は、現在10歳の子供たちがどのように育っているかを考えるということのようです。

瑤子さん 森嶋はシドニーの学会で話をしたときには、「なぜ日本は『成功』したか」の読者に読めるべく英文の本を出版することを考えていたと思いますが、思いがけない岩波からの依頼により、日本語で、それも一般の読者に書く機会が与えられたのです。日本の将来を思うと、自分の考えていることを、激しい言葉でぶちまけずにはいられなかったのでしょう。森嶋は、人と人との関わりの中で、思うように生きてきたと思います。思うところを正直に述べていたので、きつと感じられる人がいたかもしれません。でも人様を嫌うということではなく、本当に人が好きな人でした。森嶋の人間関係に対するプリンシプルは、常に上下関係というようなものを取り扱った束縛のない中で「あなた」と「私」の関係を尊重していました。映画などを観ていても、涙もろいのは私より森嶋だったように思いますよ。

飯塚 学生たちに大いに人気のあった森嶋教授のLSEでの最後の授業に出席された息子さんの言葉は、「お父さんは現場で教えている先生が良く似合っていたね」だったそうですね。森嶋通夫さんのロンドンでの活躍について5回にわたってお話いただきましてありがとうございました。次回は瑤子さんの英国での活動についてお聞きいたします。

本コラムの過去記事は、下記アドレスでご参照いただけます
www.centrepeople.com/japanese/article

Presented by
centre people
Recruitment Consultants

情報を発信し続けるセンターピープルは、人材紹介、派遣のエキスパートです。
誠意をもって心をこめたサービスを企業様、ご登録者の皆様に提供することを常に目指しております。

お呼び
ですか？

こんな時はセンターピープルにご相談下さい！

- 🐾 期間の決まった新規プロジェクト立ち上げ
- 🐾 正社員の予算はないが、戦力が必要
- 🐾 正社員の出産休暇中の戦力
- 🐾 様々な状況による柔軟な戦力として
- 🐾 繁忙期の期間限定戦力
- 🐾 短期、長期
- 🐾 日本語、英語、欧州言語

多忙で猫の手も借りたい時は、 戦力としてのテンプ【派遣社員】

私たちはこの道のプロフェッショナルです。テンプ採用に限らず正社員の採用の際にも弊社サービスをご利用いただくことで、安心してビジネスにご専念いただけます。

centre people
Recruitment Consultants

Centre People Appointments - Temp Staff 80 Cheapside London EC2V 6EE
Tel: 020 7621 3581 E-mail: centrepeople@centrepeople.com www.centrepeople.com

